肝炎治療受給者証(3剤併用療法を除くインターフェロン治療)の交付申請に係る診断書(2回目の制度利用)

フリガナ			性別			生年月日	(年齢)	<u> </u>	
患者氏名			男・女		年	月	日 生	(満歳	,)
住所	郵便番号		1	ı				<u> </u>	
	電話番号()								
診断年月	年月	前 医 年 月 (あれば記		医療機関名		医師名			
過去の治療歴	該当する方にチェックをする。 1. B型慢性活動性肝炎の場合 □ これまでの治療はペグインターフェロン製剤ではない。 2. C型慢性肝炎またはC型代償性肝硬変の場合 (1)過去のペグインターフェロン及びリバビリン併用療法の治療歴 □ これまでの治療において、十分量の3剤併用療法(ペグインターフェロン、リバビリン)による24週投与を受けていない。 □ 以下の①、②のいずれにも該当しない。 ①しれまでの治療において、十分量のペグインターフェロン及びリバビリン併用療法の48週投与を行ったが、36週目までにHCV-RNAが陰性化しなかったケース。 ②これまでの治療において、ペグインターフェロン及びリバビリン併用療法による72週投与が行われたケース。 (2)過去の3剤併用療法(ペグインターフェロン、リバビリン及びプロテアーゼ阻害剤)の治療歴 □ 3剤併用療法の治療歴なし。 □ 3剤併用療法の治療歴なし。 □ 3剤併用療法を受けたことがあるが、十分量の24週投与が行われなかった。(具体的な経過・理由:) (3)インターフェロンフリー治療歴 □ インターフェロンフリー治療歴 □ インターフェロンフリー治療歴あり。(薬剤名:)								
検査所見	今回のインターフェロン治療開始前の所見を記入する。 1. B型肝炎ウイルスマーカー (1) HBs抗原 (+ ・ -) (検査日: 年 月 日) (2) HBe抗原 (+ ・ -) HBe抗体 (+ ・ -) (検査日: 年 月 日) (3) HBV-DNA定量 (単位: 、測定法)(検査日: 年 月 日) 2. C型肝炎ウイルスマーカー (検査日: 年 月 日) (1) HCV-RNA定量 (単位: 、測定法) (2) ウイルス型(該当する方を〇で囲む。)								
診断	該当番号を〇で囲む。 1. 慢性肝炎 (B型 2. 慢性肝炎 (C型 3. 代償性肝硬変(C型	肝炎ウイルスによ	る)						
肝がんの合併	肝がん 1. あり (1	l)治療中 (2)治	計癒後	2. なし					
治療内容	該当番号を〇で囲む(B型性 1. インターフェロン α 製 2. インターフェロン β 製 3. ペグインターフェロン α 製 5. インターフェロン β 製 6. ペグインターフェロン β 製 7. その他(具体的に記載	削単独 削単独 製剤単独 剤+リバビリン製剤 剤+リバビリン製剤 製剤+リバビリン製 製してください。	到 剤 製剤(ペガシ <i>)</i>	ス又はペグイント)	〇印を付す。	0		
	治療予定期間		年 月~ ————	~ 年 ————	月)				
治療上の問 題 点									
医療機関名及び所有	<u>I</u> 在地						年()	月日	
医師氏名		(直			ターフェロンフリー? 臓専門医 □				

- (注) 1. 診断書の有効期間は、記載日から起算して3か月以内です。
 2. HBs抗原、HBe抗原、HBe抗体以外の検査所見は、記載日前6か月以内(ただし、インターフェロン治療中の場合は治療開始時)の資料に基づいて記載してください。
 - 3. 記入漏れのある場合は認定できないことがあるので、ご注意ください。